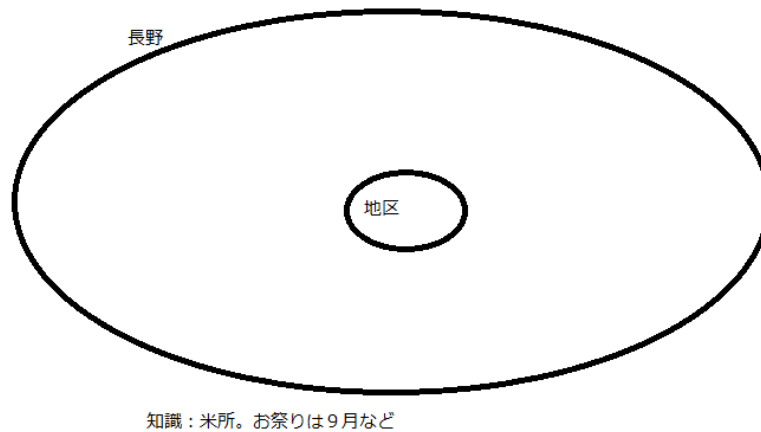


意味とは、位相空間上のステートであり、コマンドですね、そう思えます。

データは、一般的に、(key,value) で表現される物ですから、key を座標とする位相空間を作るのです。その空間の特徴点にステートができ、構造を表現したステートが、コマンドとなるのです。ステートはクラスタリングされてコンセプトを構成する。

このように考えて行くと、情報処理というものがスッキリイメージに登ってくるのです。例えば、「私は、昨日地区のお祭りに参加してきた。秋。実りの秋だ。地区は長野にある」というような文の意味を、位相空間で考えると次の図のようになります。



これに対して、次のような質問が投げ掛かれたとしたら、位相空間を走査して、所定のステートを得て、それに付属する知識を取り出して、言語化すればいいのです。

- (1) 何が採れたのですか
- (2) どれだけの収穫だったのですか

知識は連想ネットワークになることもあり、ネットワークに構造を持っていればオートマトンになるでしょう。この点は、**Prolog** でも実現できます。**Prolog** で実現した場合でも、位相空間上にコマンドをネットワーク状に繋げておけば、高速な処理が期待できます。

このように意味を捉えていくことができるという、スキーマでした。

おわり